

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アレッタ児童デイサービス本郷台		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年3月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々のコミュニケーションを大切にしており、「よく話を聞いて頂き、本人をプラスの方向に受け入れて考えて頂き感謝している」というお言葉に象徴されるように、保護者様のニーズに寄り添う相談支援ができています。	送迎時など短い時間でも、その日のご様子や小さな成長を必ず直接お伝えするようスタッフ全員で意識しています。保護者様が一人で悩みを抱え込まないよう、いつでも相談しやすい雰囲気作りを心がけています。	現在の良好な関係性を土台としつつ、日々の記録を活かして、支援の目標や意図をより分かりやすく保護者様と共有します。子どもの将来の課題についても、より深く具体的な共通理解を持てるよう努めてまいります。
2	チームで綿密に活動を立案しており、「お出かけや調理もあり楽しく通えている」「いつも楽しみにしている」と満点の評価をいただきました。心理面へのアプローチも含めた専門性が高い。	活動がマンネリ化しないよう、事前事後の打ち合わせを徹底し、子どもたちの反応を細かく振り返っています。次回の体験型プログラムがさらに充実したものになるよう、常にスタッフ間でアイデアを出し合っています。	子どもたちが「楽しい」と感じる活動の中で、自然と社会性や生活スキルが身につく仕組みを強化します。標準化されたアセスメントツールによる客観的な指標も活用し、より質の高い療育プログラムを安定提供できる体制を確立します。
3	マニュアルの策定や周知が徹底されており、保護者様からも個人情報の取り扱いや安心感を得ている。	ヒヤリハット事例の共有や定期的な避難訓練の実施など、マニュアルを形骸化させず、日々の業務の中で生きた知識として活用できるよう、スタッフ研修を継続的に実施し、安全への意識を高く保っています。	災害時や緊急時の対応力を高めるため、保護者様と連携した実践的な訓練の導入などを検討します。施設全体の安全文化を常にアップデートし続ける組織風土を築き、地域で一番安心できる居場所を目指します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	双方の評価で低い結果となっており、「他の子どもとの交流はやっているのかわからない」との声も寄せられています。事業所内の活動に留まり、地域住民や児童館等との関わりが希薄になっている。	日々の安全な療育環境の維持を最優先するあまり、外部機関との調整や地域イベントへの参加計画にまでスタッフの意識や時間を割ききれていませんでした。地域に開かれた施設づくりへの具体的な計画が欠けていました。	今後は夏祭りなどのイベント規模を拡大し、地域住民の方々を招待する機会を積極的に創出します。また、地域の児童館等と連携し、無理のない範囲で障害のない子どもたちと自然に触れ合える合同プログラムの企画など、地域参加へのステップアップを図ります。
2	「保護者会の存在はわかりません」とのご意見の通り、横の繋がりを生み出す場を十分に提供できていません。夏祭り等に限定されず、保護者様同士が気軽に悩みや情報を共有し合える環境づくりが必要。	「集まるのは親としても時間的に難しい」という切実な声を事前にお聞きできておらず、従来型の対面での集まりに固執していました。多忙な現代の保護者様に合わせた柔軟な参加形態の検討が不足し、支援のアップデートが遅れていました。	「Zoomなど利用して開催してほしい」という貴重なご要望に即座にお応えし、オンライン形式での気軽な茶話会などを企画します。時間や場所の制約を減らすことで、保護者様同士が孤立せず互いに支え合える温かい繋がりをサポートします。
3	苦情解決体制について「話があったことも知りません」、バリアフリー設備について「確認したことがなかった」等のご指摘がありました。事業所の仕組みに関する「分かりやすい継続的な情報発信」型でない。	利用開始時に重要事項としてお伝えしたことで満足してしまい、その後の継続的かつ定期的なアナウンスを怠っていました。会報等の媒体を十分に活用しきれておらず、保護者様との間に情報共有の大きなズレを生じさせてしまいました。	苦情解決窓口の案内や設備情報、自己評価結果などを、毎月のお便りや身近な連絡ツールで視覚的に分かりやすく定期発信します。些細なことでも意見を言いやすい風通しの良い環境を整え、いただいた声は迅速な業務改善へと繋げてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アレッタ児童デイサービス本郷台

公表日 2026年3月17日

利用児童数 30名 回収数 8名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	0	・体験時は人数が少なく、揃った状態での活動を見られていない。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0	・いつもよく見ていただいて、ありがとうございます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	4	0	0	・しっかり確認したことがなかったです。 ・あまり記憶がないです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	4	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0	・よく話を聞いて頂き、また本人をプラスの方向に受け入れて考えて頂き感謝しています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	6	0	0	・他の子どもとの交流はやっているのかわからない。 ・あまりないと思うが、自分の子どもは学校等で機会がある。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	1	0	・集まるのは親としても時間的に難しいので、zoomなど利用して開催してほしい。 ・保護者会の存在はわかりません。 ・夏祭りの時に交流する事ができる。	保護者の方が参加しやすい方法を考え、オンラインも含めて交流の機会を作ります。保護者会の案内もわかりやすくお伝えします。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	・いつも楽しみにしております。ありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	・心理面からのアプローチを行っていたり、相談しアドバイスを受けることもできかけております。プログラムもよく考えられ、お出かけや調理もあり子供も楽しく通えています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アレッタ児童デイサービス本郷台				公表日	2026年3月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	人員配置は満たしているが、支援の質をさらに高めるため新たな人員の募集をかけて増員を目指している	職員の配置を見直し、必要な場面で十分に支援できるよう人員の確保を進めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修及び訓練を実施している	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			関係機関とつながる機会を増やし、必要ときに情報共有できる体制を整えます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			進学や移行の場面に備えて、必要な情報をまとめて関係先へ丁寧に引き継げるようにします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			地域の支援機関との連携を進め、助言や研修を受ける機会を増やします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		夏祭り等のイベントの規模を大きくしていき、地域との関わりを増やしていく	地域のこどもと関わる機会を増やせるように、交流できる行事や参加の場を広げます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	夏祭り等が保護者同士の関わりの場となっているが、来所いただける機会をさらに創出していく	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	保護者・家族向けに開催した夏祭り等をステップアップし、地域に向けた取り組みへとしていく	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				